

令和元年度 第 2 回教育・子育て部会

今後の取り組み検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容

【2-1 学校教育支援】

大阪市の小学生、中学生の自尊心や自己肯定感は全国と比較して低い傾向にあり、この結果は区内の各学校協議会でも話題に上がっています。各校でも様々な取組を行っていますが、特効薬のような手段は見いだせていません。

一般的に自己肯定感が高い子どもは、積極的に挑戦する姿勢や、成功体験や失敗体験の積み重ねにより自身を成長させることが期待されますが、自己肯定感が低い子どもは物事に意欲的に取り組みにくく、失敗を極度に恐れてしまう可能性があります。また、全国学力・学習状況調査において「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか」等の自尊心・自己肯定感に関わる質問に対しての肯定的回答率と学力テストの得点には明らかな相関関係が見られることから、子どもの自己肯定感の向上は重要な課題となっています。

淀川区としても子どもの自尊心、自己肯定感の向上に向けた取り組みを行っていきたくと考えており、令和元年度につきましては、淀川区大志育成プロジェクトとして、淀川区内の市立小・中学校が、児童・生徒の道徳心・自尊心の育成や学習意欲の向上を目的として実施する講演会等の経費の一部の負担や、はぐみネット事業において自尊心等の向上につながる講演会（放課後学習会等）の講師謝礼金を負担するなどの取組を行っています。このような取組を広げていくために、家庭、地域へのアプローチの仕方についてなど、どのように取り組んでいけばよいかについて委員の皆様から様々なご意見を頂きたいと考えています。

なお、現時点では新たな取り組みの一つとして「ほめ写」（別紙参照）に関するものも検討しております。こちらについてもご意見等ございましたらぜひとも教えていただきたいと思います。

【2-2 児童虐待ゼロに向けた子育て支援】

淀川区役所子育て支援室では、身近な場所で子ども・保護者を継続的に支援し“子育ての負担感を軽減”することにより、児童虐待の発生防止等に取り組んでいます。

よどマガ！ 11月号で「児童虐待防止推進月間」の取組み記事「思いはちがうけれど・・・子どもは大切」を掲載しました。“子育て中の親の思い”と“周りの人の思い”を対比させる構成で＜子どもが泣いているという現象＞に対して周りの人は、親の背負っているしんどい部分を解ってくれているかな？子育て中の親たちは、「声をかけてあげたいけどな～」と思っている人もいることが解っているかな？という記事です。この記事に関してご意見をお聞かせ頂き、ご自分だったら、ご友人だったら、ご近所の方だったらどうされるかを教えて頂きたいと思います。

また、核家族だけでの子育てが増え、周りの人とのつながりが少なくなっている中で子育てすることはしんどいと思います。そこで“子育て”を“孤育て”にしないために【淀川区おせっかい共和国】の記事に繋がるのですが、地域の皆さんのいろいろな取組みがとても大切な役割を果たしている中＜子育てサロン＞の活動で、気を付けていることや工夫されていること、良かったこと等教えていただきたいと思います。また、その他にどんな取組みが考えられるかについてのご意見もお願いします。